

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 有松商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																	
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等		備考				
巡回・窓口相談指導事業	経営基盤の弱い小規模零細企業を中心に、商工会職員が事業所へ訪問し、金融相談・税務相談・労務相談等・経営全般について相談指導をし、健全な企業を育成するとともに、課題解決を提案し、事業計画の策定・実施に係る伴走型の指導・助言を行う。	・巡回窓口指導実企業数 巡回指導実企業数 95件（内 非会員 3件） ・巡回窓口指導実企業数 147件（内 非会員 7件） ・巡回窓口指導延件数 667件（内 非会員 15件） ・課題解決提案件数 17件 ・経営革新承認件数 0件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 139.0 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 85.0 %)			事業者ごとの課題をみつけ、解決するための提案をすることにより、小規模事業者の相談相手となり、各種支援及び施策普及を図ることができた。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	巡回時に各事業者の課題を把握し、解決方法の提案に努め、伴走型支援の事業者数の向上を図りたい。
				目標数値	480	実績数値	667	目標数値	20	実績数値	17					B		A		両方現状維持	
記帳継続指導	商工会職員が個人事業主等を対象に、正しい記帳方法と確定申告指導を行うことにより適正な税務申告を促し、経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結び付ける。	・指導対象者数 65件 ・指導延日数 549日 ・指導回数 1044回 ・年3回税理士による講習会を開催	小規模事業者	指標	記帳指導事業者数 (達成度 108.3 %)			指標	(達成度 %)			税理士の指導及び記帳指導員の日頃の記帳指導によって、経営改善の向上に繋がった。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	現状の指導事業所を確保しつつ、新規募集を図りたい。
				目標数値	60	実績数値	65	目標数値		実績数値						A		A		現状維持	
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的問題についての啓蒙を図り、事業者の資質向上と円滑な事業運営に資することを目的とする	・集団講習会 年 5回開催 13人 ・個別相談会 年15回開催 145人 計 158人	小規模事業者	指標	講習会修了者数 (達成度 98.8 %)			指標	(達成度 %)			事業者の知識向上と税務・金融の問題解決及び解決への方向性が得られた。	総合評価	B	事業実施側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	啓蒙活動として有意義なものなので、継続していくが、時勢に合ったものに見直し、参加者数の増加を図る。
				目標数値	160	実績数値	158	目標数値		実績数値						B		B		現状維持	
地域振興祭事業	桶狭間古戦場まつりなどの各種祭典を開催し、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、地域産業のPRの機会を増やすとともに総合的な振興を図ることを目的とする。	・5月桶狭間古戦場まつり（大池周辺） 来客数延べ 1万人 出店者数 8社 ・10月 緑区民まつり（宿場名物市） 来客数延べ 7万5千人 出店者数 5社 ・サムライ・ニンジャフェスティバル2019 出店者数 10社	小規模事業者	指標	出店参加企業数（延べ） (達成度 115.0 %)			指標	(達成度 %)			各イベントの集客が活かされ、参加事業所の売上向上と地域住民へのイメージアップが図られた。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	各まつりにおいて、ブースの関係を配慮しながら、業種が重ならないよう努め、出店事業所を確保していきたい。
				目標数値	20	実績数値	23	目標数値		実績数値						B		B		現状維持	
商店街振興事業	消費者の生活形態の変化・郊外型大型店への購買力流出など、地元中小事業者が抱える様々な経営課題解決に向け、地域活性化・集客力向上につながる魅力あるイベント事業の実施等、地元事業者の育成、地域の賑わい、消費喚起を図ることを目的とする。	・4月 なごや商業フェスタの開催 参加企業数 15社 ・5月～3月 商店街人材育成「あきない塾21」の参加 参加企業数 1社 ・12～1月 地域に特化した新春大売出しを行う地元商店街へ商業部会を通じ支援する。 参加企業数 21社 ・11月～1月 プレミアム商品券事業 参加企業数 6社 ・随時 街路灯維持管理 8基 ・随時 なごや未来っ子応援制度(子育て支援)事業参加 参加2回 びよかキャンペーン 1回 参加200名	中小事業者	指標	参加企業数（延べ） (達成度 75.4 %)			指標	(達成度 %)			「なごや商業フェスタ2019」・「プレミアム商品券」実施により消費者還元ができ、販促活動の一助となった。「あきない塾21」は事業者の知識向上が図られた。「街路灯事業」「なごや未来っ子応援制度」等は地域商業の活性化に寄与した。	総合評価	B	事業実施側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	商店街の人材育成に重点をおく。
				目標数値	57	実績数値	43	目標数値		実績数値						B		B		下げる	
情報化推進事業	HPの更新を頻繁にすることにより、会員事業者が有益で新しい経営情報を取得させ、会員紹介コーナーからのリンクによりビジネスチャンスの窓口とした。又、地域の紹介をすることにより来町者を増やし、地域の活性化につなげることを目的とする。	「商工会事業・各種施策紹介」へのリンク。金融・労務・税務関連」の行政HPへのリンクや会員向けの情報等 会員事業所紹介 6事業所 合計 23回更新	小規模事業者 HPに訪れる一般の方々	指標	会員事業所情報公開企業数 (達成度 200.0 %)			指標	HP更新回数 (達成度 383.3 %)			小規模事業者の知識習得に繋がった。又、来訪者の増加によりビジネスチャンスが増加した。	総合評価	A	事業実施側の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	会員紹介コーナーの充実と商工業者にとって必要かつ有益な最新の情報を迅速に更新することに努めていきたい。
				目標数値	3	実績数値	6	目標数値	6	実績数値	23					B		B		①現状維持②上げる	
				目標数値		実績数値		目標数値		実績数値							A	A	両方現状維持		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 有松商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																	
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等		備考			
会員研修事業	先進地を視察し、各事業所のビジネスチャンスの創造により、地域の商工業の発展に寄与することを目的とする。	会員研修事業 22事業所 42名参加	小規模事業者	指標	参加事業者数（延べ） （達成度 105.0 %）			指標	（達成度 %）			先進地を視察することにより、参加事業所の情報収集が図られ、ビジネスチャンスとなった。	総合評価	A	事業評価側	自己評価	事業者への調査結果		満足度	補足	目標
				目標数値	40	実績数値	42	目標数値		実績数値						B		B	必要性		下げる
部会・委員会	商業・工業等の各部会や各委員会において、地域の現状や特性を踏まえた事業を企画し、活動を行い、地域社会の発展に資することを目的とする。	・工業部会事業 1回開催 参加企業数 6社 工業部会役員会 1回開催 参加企業数 5社	小規模事業者	指標	参加企業数（延べ） （達成度 110.0 %）			指標	（達成度 %）			資質向上及び地域活性化と企業間の交流が図られた。	総合評価	B	事業評価側	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	各部会・委員会の多くは役員が関わっており、決定までのプロセスの機動力を上げる為、理事会へ集約できるものは集約していく。
				目標数値	10	実績数値	11	目標数値		実績数値						B		B		必要性	
福利厚生事業	中小企業・小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度の普及や企業の健全な育成に資することを目的とする。	中小企業共済加入件数 52件 + 0件=52件 （維持加入）（新規） 中小企業共済一手続き 合計 4件 小規模企業共済加入件数 77件 + 3件=80件 （維持加入）（新規） 小規模企業共済一手続き 合計 17件 火災共済一手続き 合計 7件	中小・小規模事業	指標	中小企業共済加入件数 （達成度 89.7 %）			指標	小規模企業共済加入件数 （達成度 101.3 %）			各種共済の加入や手続きにより、従業員への福利厚生の充実を周知することができ、経営安定化の一助となった。	総合評価	B	事業評価側	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	高齢化や景気の低迷により解約が増加する見込みである。必要性を認めてはいるが、経費削減的になりやすい。減少を止めることを重点にして、定期的に共済担当者と加入勧奨をすることにより、現状維持を目指す。
				目標数値	58	実績数値	52	目標数値	79	実績数値	80					B		B		必要性	
労働保険事業	事業主の委託を受け、事業主に代わって労働保険料の申告納付・労働保険に関する各種届出作成等の事務手続きを行うことにより、事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進および労働保険料の適正な徴収を図る。	4月23日～5月7日 委託事業所数-47件 年度更新指導会-37件 新規委託-2件 労働保険関連出張：44回	事務委託を受けている全事業所	指標	委託事業者数 （達成度 90.4 %）			指標	（達成度 %）			委託事業場の給付金請求等の事務処理にかかる負担を軽減。労災・雇用保険の加入勧奨、法改正の周知により、労働雇用環境の整備がなされた。	総合評価	B	事業評価側	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	委託事業所の現状維持に努め、厚生労働省の労働保険適用推進月間に合わせ、未加入事業所への加入勧奨を行いたい。
				目標数値	52	実績数値	47	目標数値		実績数値						B		B		必要性	
税務関係団体指導事業	青色申告会・法人会等の活動を支援し、事業運営に協力することにより、地域への貢献・発展を図り商工業の活性化に資する。	税務指導会-5回開催 延べ61名参加 税務連絡協議会-5月23日 総会 23名参加 定例会2回開催 52名参加 編集委員会1回開催 12名参加	青色申告者及び法人企業	指標	各団体が行う事業の参加者数（延べ） （達成度 98.7 %）			指標	（達成度 %）			税務支援団体との連携により、税務に対する信頼性が向上した。	総合評価	B	事業評価側	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	各関係団体との連携を強化し、税務関連事業を円滑に推進したい。
				目標数値	150	実績数値	148	目標数値		実績数値						B		B		必要性	
産業団体等指導	名古屋市内3商工会（鳴海・有松・守山）が連合協力して、名古屋市への陳情・意見具申等を行い、名古屋商工会議所との連携事業として福祉の増進に寄与することにより、商工業の活性化に資することを目的とする。	7月29日 名古屋市中商工連合会 総会・意見交換会 商工会 3名参加 市幹部 2名参加 12月17日 施設児童に対する クリスマスプレゼント 事業 市関係者 3名参加 商工会議所 2名参加 商工会 3名参加 施設児童 30名参加 2月7日 名古屋市中商工連合会 事業承継後継者育成セミナー 1回開催 7名参加	行政関係者・小規模事業者	指標	参加人数（延べ） （達成度 66.7 %）			指標	（達成度 %）			要望活動により、商工業振興に対する支援が確保された。	総合評価	B	事業評価側	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	市当局担当職員との意見交換会を開催し、連携を図る。
				目標数値	30	実績数値	20	目標数値		実績数値						B		B		必要性	
若手後継者育成事業	事業者の高齢化が進み、数年先には事業継承が出来ず廃業が増えていくこととなる。又、後継者は具体的などんな準備をするべきか分からず独自で考え、悩んでいる事業者もいる。相談会やセミナーの開催により知識の習得を図り、円滑な事業承継に資することを目的とする	・事業承継セミナー 1回開催 参加者数 6名	小規模事業者	指標	講習会修了者数 （達成度 60.0 %）			指標	（達成度 %）			事業承継をすることの意味や後継者選びの難しさを知ること、事前準備が重要という理解を得られた。又、事業承継を具体的に取り組むための一助にもなった。	総合評価	B	事業評価側	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標	事業承継が課題となつてから数年が経過し、ある一定の認識は得られた。今後は事業承継を検討している事業者を対象に具体的に取組めるように支援を図りたい。
				目標数値	10	実績数値	6	目標数値		実績数値						B		B		必要性	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。